取扱説明書

HDDミュージックプレーヤー

m:robe MR-100

はじめに

このたびは、オリンパス HDD ミュージックプレーヤーm:robe MR-100 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
取扱説明書は以下のような構成になっております。ご使用の際は、これらの説明書をお読みになり、本製品を安全に正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

クイックスタートガイド

m:robeをご使用になる前に必要な準備について説明しています。
こちらを読んで準備をしていただくと、すぐにm:robeを使い始めることができます。

取扱説明書（本書）

すべての機能を説明しています。
いろいろな機能をお使いになるときは、こちらをお読みください。

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番など、最新の情報については、裏表紙に記載の当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら、当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用により、万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書のイラストは実際の製品とは異なることがあります。

電波障害自主規制について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか、その場所の指示に従ってください。
- 本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標等について

- m:robe、m:tripは、オリンパス株式会社の商標です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。
- 本製品には、株式会社リコーのフォントを使用しています。

著作権と著作権保護機能（DRM）について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音楽ファイル、音楽 CD などの複製や配布またはインターネットへの掲載、再掲載、商用、販売を目的としたMP3やWMAファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。
WMAファイルには著作権の保護を目的としたDRM（Digital Right Management）が施されている場合があります。DRMが施されているファイルは音楽CDから変換（リッピング）した音楽ファイルや音楽配信によって入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。
DRMの施されたWMAファイルは付属の音楽･画像管理ソフトm:tripを使用してm:robeに転送することができます。音楽配信サービスなどで購入されたDRM付き音楽ファイルをm:robeに転送する場合、転送回数などの制限がある場合があります。

本製品に内蔵されている曲の取扱いについて

本製品に内蔵されている曲の著作権は作家およびファイル提供者に帰属しています。
これらのサンプル素材を営利目的で複製、使用すること、第三者に譲渡、転売することは禁じられています。
万一これらに反する使用をされた場合は著作権侵害により罰せられる場合がございます。
また、当社はそれらに関する一切の責任を負いかねますので充分ご注意ください。

記録した音楽ファイルについて

本体やパソコンの故障により音楽ファイルが消去または再生不能となった場合、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書では、使いたい機能、知りたい機能をすぐに検索できるように、目次、索引のページが用意されています。

目次から探す（☞6ページ）

この取扱説明書に記載されているタイトルが並べられています。m：robe を使い始める前に読む章や、音楽の再生、設定などの基本操作を覚えたいときに読む章など、目的別に構成されています。

索引から探す（☞54ページ）

m:robe の機能名など、この取扱説明書で使っている用語が 50 音順に並べられています。本書を読んでいて、分からない言葉や知りたい言葉がでてきたときに、索引からその用語を使っているページを探すことができます。

本文中のマークについて

この取扱説明書では、次のマークを使っています。

マーク	マークの意味
補足	m:robeを使用するときに、知っておくと便利な情報を記載しています。
ご注意	m:robeを使用するときに、注意していただきたいことを記載しています。
☞	関連情報や参照ページを記載しています。

m:robeの特長

- 5GBのハードディスクに、音楽最大約1,200曲*を入れて持ち運べます。
- 付属の音楽・画像管理ソフトm:tripからワンクリックで音楽配信サイトにリンクして、簡単に音楽の購入ができます。
- 付属の音楽・画像管理ソフトm:tripでご自分の音楽CDを簡単に追加、管理することができます。
- クレードルに置いて簡単な操作をするだけで、付属の音楽・画像像管理ソフトm:tripに入っている音楽を簡単にm:robeに同期転送することができます。
- パソコンの外付けハードディスクとして認識させることができます。

* 音楽データのみを入れた場合
WMA形式、128kbpsのファイルを、1曲4分で換算時

目次

はじめにご確認ください

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」の内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の発生が想定される内容を示しています。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品のお取り扱いについて

警告

- **水がかかる場所では使用しない。**感電･火災･発熱･破裂の原因となります。雨天や降雪、海岸や水辺での使用は充分に注意してください。また風呂場やシャワー室では使用しないでください。
- **ストーブなど火のそばで使用や放置はしない。**発熱、破裂、火災の原因となります。特に充電中はご注意ください。また電源コード被覆が損傷した場合には火災、感電の恐れがあります。
- **可燃性ガス、爆発性ガス等がある場所では使用しない。**これらのガスが、大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火･爆発の原因となります。
- **幼児、子供の手の届く場所に置かない。**保護者の目の届かないところで、使用しないように注意してください。
- **通電中の本体やACアダプタ、クレードルに長時間触れない。**充電中は、本体やクレードルの温度が高くなります。また、専用のACアダプタをご使用時も長時間お使いになっていると、本体の温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどの原因となることがあります。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使ったり、保管しない。**火災や感電の原因となることがあります。
- **雷が鳴り出したら使用しない。**感電の原因になります。ACアダプタを抜いてご使用をひかえてください。
- **歩行中や運転中には使用しない。**けがや事故の原因となります。特に運転しながら表示画面を見ることは絶対に避けてください。
- **内部に水や異物を入れない。**万一、水に落としたり、内部に水が入ったときは、火災や感電の原因となりますので、すぐに電源を切り、販売店または当社修理センター、当社サービスステーションにご相談ください。

- **異臭、過熱、変色、変形、発煙が発生したときは使用しない。**そのまま放置すると火災、感電、やけどなどの原因となりますので、すぐにACアダプタを外し電源を切り、販売店または当社修理センター、当社サービスステーションにご相談ください。
- **液漏れや異臭がする場合には火気から遠ざける。**破裂や発火の原因になります。
- **本体およびACアダプタの分解や改造をしない。**内部には電圧の高い部分があり、感電やけがをする原因となります。
- **電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工しない。**重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げない。電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。

注意

- **電源プラグの抜き差しは、濡れた手では絶対にしない。**感電の危険があります。
- **炎天下の車内など高い温度になる所へ放置しない。**内蔵バッテリから液漏れしたり、部品が劣化したり、火災の原因となります。また、AC アダプタやクレードルを布などで覆った状態で使用しないでください。熱が発生し、火災の原因となります。
- **専用のACアダプタ以外は使用しない。**本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外の AC アダプタの使用により生じた傷害は保証しかねますので、あらかじめご了承ください。
- **電源コードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしない。**必ずプラグを持って、抜き差しを行ってください。以下の場合は、直ちに使用を中止し、販売店または当社修理センター、当社サービスステーションにご相談ください。
  －電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合。
  －電源プラグやコードに傷または断線、プラグに接触不良があった場合。
- **本体の外装の金属部分に、長時間触れない。**
  －長時間お使いになると、本体の温度が高くなります。金属部分に触れたまま長時間使用を続けると、低温やけどを起こすおそれがあります。
  －低温下にさらされていると、本体の外装も低温になります。皮膚が貼り付いてけがをする場合があります。低温やけどや傷害を防ぐため、手袋などをご使用ください。
- **溶液等の漏れがある場合は、溶液に触れない。**本体の内蔵バッテリ等からの液漏れが考えられます。溶液が目に入ったり皮膚に付着したりすると、人体に障害を起こすおそれがありますので触れないでください。溶液に触れた場合には、すぐにきれいな水で充分に洗い流し、医師の治療を受けてください。

製品の使用条件について

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。本製品を使用または保管する場合、以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる場合がありますので、避けてください。
  - 高温多湿または温度･湿度変化の激しい場所、直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
  - スピーカーなど強い磁気を発する機器のそば
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- 本製品を落としたりぶつけたりして、強い振動や衝撃を与えないでください。
- 本製品のそばに磁気を帯びたものを近づけないでください。本製品に記録した内容が読み出せなくなる場合があります。また、本製品にクレジットカードやフロッピーディスクなどの磁気媒体を使用するものを近づけると、クレジットカード等も使用できなくなるおそれがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、本体内部で結露する場合があります。本体を室内の温度になじませてからご使用ください。
- ヘッドホンの音量にご注意ください。音量を上げすぎて使用すると、聴力に影響を与える場合があります。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、液晶ディスプレイが割れるおそれがあります。万一破損した場合は、中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い落してください。
- 液晶ディスプレイの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 一般に低温になるにしたがって液晶ディスプレイは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能が低下した液晶ディスプレイは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶ディスプレイは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

クレードルについて

危険

- **内部に水を入れない。**クレードルを水の中に落としたり、浴室など湿気の多い場所で使用すると、火災や発熱、感電の原因となることがあります。
- **変形や改造、分解をしない。**火災や発熱、感電、けがの原因となることがあります。

警告

- **金属類を置かない。**火災や発熱、感電の原因となることがあります。
- **幼児、子供の手の届くところに置かない。**保護者の目の届かないところで使用しないように注意してください。

注意

- 充電は周囲の温度が5℃～35℃の環境で行ってください。破裂や火災、液漏れ、バッテリの故障の原因となることがあります。
- 重い物をのせたり、湿度の高い場所や不安定な場所に放置しない。破裂や火災、液漏れ、バッテリの故障の原因となることがあります。
- 使用中に長時間触れない。低温やけどの原因となることがあります。
- 充電を開始してから5時間以上経過しても、充電が終了しない場合は、故障している可能性があります。このようなときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社修理センター、当社サービスステーションにご連絡ください。
- テレビの上など不安定な場所でクレードルを使用したり、保管しないでください。落下してけがをするおそれがあります。

AC アダプタについて

注意

- 付属のACアダプタか当社指定のものを使用してください。間違った物を使用すると装置の故障や安全上の問題を起こすことがあります。また、電源は必ず指定の電圧範囲でご使用ください。
- ACアダプタは室内専用です。
- 接続コードや電源プラグをコネクタやコンセントから抜くときは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。本製品内のデータや本製品の設定値、機能にトラブルを生じる場合があります。
- 長期間、本製品を使用しない場合には、安全のためにACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ACアダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源コードにゆとりをもたせ、ACアダプタやコードに無理な力がかからないようにしてください。
- 使用中、ACアダプタが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ACアダプタ内部で発信音がすることがありますが、故障ではありません。
- ラジオの近くで使用すると雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

内蔵ハードディスクについて

本製品にはハードディスクが内蔵されています。ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化を受けやすく、保存されているデータが損なわれることがありますので、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 以下のような環境にて本製品を操作したり、放置すると動作不良や故障、データの消失の原因となることがありますので避けてください。
  －急な温度変化を与えないでください。結露が生じる原因となります。
  －雷が鳴っているときは使用しないでください。
  －磁石やスピーカーなど磁気の影響を受けやすいものなどを近づけないでください。
  －激しい振動のある場所に置かないでください。
  －物をのせたり、物を落としたりしないでください。
  －コップなど、近くに液体の入った容器を置かないでください。
  －振動や衝撃を与えたり、振り回したり、落とさないでください。
  －強い力で押したり、ひねらないでください。
  －内蔵ハードディスクへの書き込み、読み出し中は、電源を切ったり、USBケーブルを抜かないでください。
- パソコンで本製品をフォーマットしないでください。
- 内蔵ハードディスクに保存しているデータは、万一故障したり、変化/消失した場合に備えて、定期的にバックアップを取って保存することをおすすめします。
- 内蔵ハードディスクに保存した内容の損害について、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 修理や点検に出す際には、必ずバックアップをお願いします。
  修理や点検のためにハードディスクへの書き込みや消去を行う場合があります。

内蔵バッテリのお取り扱いについて

内蔵バッテリは、本製品専用です。その他の機器では使用しないでください。

- **自然放電について**

内蔵バッテリは本製品を使用していない間も少しずつ自然放電していきます。ご使用になる前に、こまめに充電することをおすすめします。更に長期間ご使用にならない場合でも、バッテリ性能を維持するために、半年に1回程度充電することをおすすめします。

- **内蔵バッテリの寿命について**
  - 内蔵バッテリは約500回充電できます。(数値はあくまでも目安ですので、使用方法によって異なります。)
  - 内蔵バッテリは消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。十分に充電しても使える時間が極端に短くなった場合は、内蔵バッテリを交換する必要があります。このようなときは、販売店または当社修理センター、当社サービスステーションにご相談ください。

- **使用時の温度について**

内蔵バッテリは化学製品です。適切な環境で使用しているときでも、内蔵バッテリの持続時間が短くなる場合がありますが、故障ではありません。

- 推奨温度
  - 充電: 5℃～35℃

上記の推奨温度範囲外で本製品を使用した場合、内蔵バッテリの持続時間や寿命が短くなるおそれがあります。

 補足

内蔵バッテリの残量にかかわらず、本内蔵バッテリは完全に充電するように設計されています。

- **廃棄について**

本製品内蔵バッテリには、リチウムイオンバッテリを使用しています。リチウムイオンバッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。

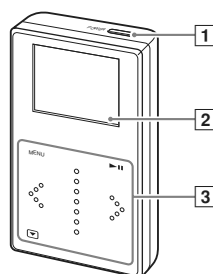
本製品を廃棄されるときは、内蔵バッテリをリサイクル協力店へお持ちください。

内蔵バッテリを取り外す方法について詳しくは、「m:robeを廃棄されるときのご注意」(☞44ページ)をご覧ください。なお、廃棄するとき以外は、本製品を絶対に分解しないでください。

各部のなまえと働き

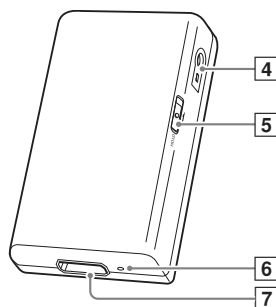
本体

m:robeはタッチパッドを使って操作します。

表面

1 POWERボタン(☞20、24ページ)

2 液晶ディスプレイ

3 タッチパッド(☞26ページ)

裏面

4 リモコン/ヘッドホン端子(☞23、35ページ)

5 HOLDスイッチ(☞25ページ)

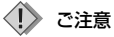
6 ハードウェアリセットスイッチ(☞48ページ)

7 クレードル/PC接続端子(☞20ページ)

 補足

オプションでリモコンがあります。
リモコンについて詳しくは、「リモコンを使用する(オプション)」(☞34ページ)をご覧ください。

準備する

m:robeを準備する

ご注意

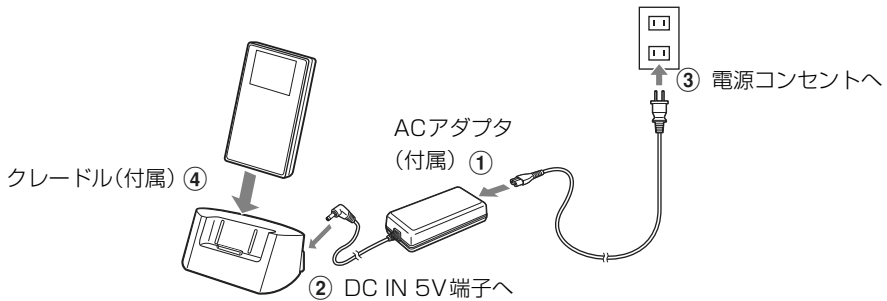
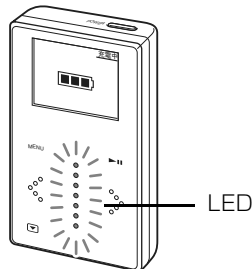
付属の音楽・画像管理ソフトm:tripをインストールする前に、m:robeをパソコンに接続しないでください。

バッテリを充電する

1 ACアダプタと電源コードを接続します。

2 クレードルのDC IN 5V端子にACアダプタを接続します。

3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

4 m:robeをクレードルにのせます。

充電が始まり、充電中の画面が表示されて、タッチパッド上のLEDが点滅します。

充電が完了すると、充電中の画面とLEDが消灯します。

補足

- 完全に充電するには、約3時間かかります。
- 付属のACアダプタはDC入力5Vを指定するオリンパス専用製品です。
- 専用USBケーブルで、パソコンとm:robeを接続して、パソコン経由で充電することもできます。その場合、AC アダプタで充電するよりも時間がかかります。USB ケーブルでの接続については、「接続する」(☞20ページ)をご覧ください。

m:tripを準備する

パソコンに必要なシステム構成

m:tripを使用するには次の動作環境が必要です。

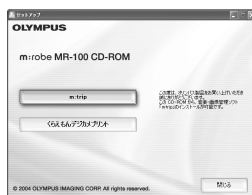
- OS: Windows 2000 Professional、Windows XP Professional/Home Edition
- CPU: Pentium III 500MHz以上
- RAM: 128MB以上(256MB以上を推奨)
- ハードディスク空き容量: 200MB以上(インストール時必要容量)
- USBポート: USB2.0/1.1(USB2.0 High Speedを推奨)
- モニタ: 800×600ドット以上、65,536色以上(1,677万色推奨)
- CD-ROMドライブ
- Internet Explorer 6以上
- Windows Media Player 9以上

補足

OSがプレインストールされているパソコンのみ、動作対象となります。

音楽・画像管理ソフトm:tripをインストールする

1 パソコンを起動してCD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。

次の画面が表示されます。

補足

画面が表示されない場合は、デスクトップ(Windows XPの場合は、タスクバーの[スタート]メニュー)の[マイコンピュータ]からCD-ROMのアイコンをダブルクリックして、[Launcher.exe]を起動してください。

2 [m:trip]をクリックします。

インストールウィザード画面が表示されたら、画面に出てくる説明に従って進んでください。

3 インストール完了画面で[完了]をクリックします。

m:tripのインストールが完了します。

インストール完了後、再起動を要求された場合は、パソコンを再起動してください。

m:tripを起動するには

デスクトップ上に作成されたm:tripのアイコンをダブルクリックしてください。

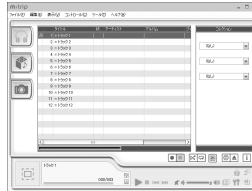
起動後、ユーザー登録画面でユーザー登録をしてください。

オンラインヘルプについて

m:tripの操作や説明について詳しくは、画面上の[ヘルプ]からオンラインヘルプをご覧ください。

m:tripに音楽を取り込む

音楽CDをパソコンに挿入して、音楽を取り込みます(インポート)。
音楽CDからm:tripに音楽を取り込むときは、WMA形式で取り込まれます。
MP3形式で取り込むことはできません。

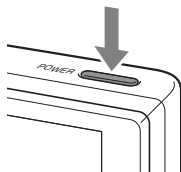
1 音楽CDをパソコンに挿入します。
m:tripが自動的に起動して、次の画面が表示されます。

補足
m:trip が自動的に起動しない場合は、タスクバーの [スタート] メニューの [(すべての)プログラム]、[Olympus m-trip]から[m-trip]を起動してください。

2 画面に表示される[音楽CDからのインポート]ボタンをクリックします。
音楽の取り込みを開始します。

補足
- すでにパソコンに取り込まれているWMA形式やMP3形式の音楽ファイルをm:tripにインポートしたり、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルを取り込むこともできます。
これらの操作方法について詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。
- Windows Explolerなどのその他のアプリケーションソフトを使用して音楽データ転送をしても、m:robeで音楽の再生はできません。m:robeへの音楽データの転送にはm:tripを使用してください。
詳しくはm:tripオンラインヘルプをご覧ください。

m:tripからm:robeへ音楽を転送する

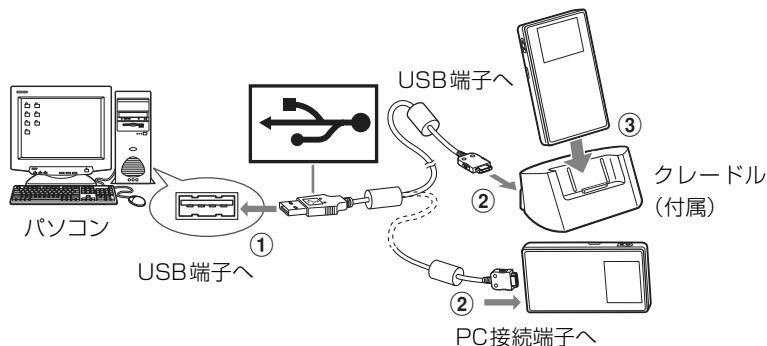
電源をオンにする

POWERボタンを押します。

パソコンに接続する

m:robeをパソコンに接続します。

1 専用USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

2 専用USBケーブルを、クレードルに取り付けます。

3 m:robeをクレードルにのせます。

補足

- m:robeをパソコンに接続するとき、専用USBケーブルを直接m:robeのPC接続端子に接続することもできます。
- m:robeの電源を入れないで専用USBケーブルでパソコンとm:robeを接続すると、m:robeの充電が開始されます。
  その充電中にm:robeの電源を入れると、充電状態は停止しますが、電池は消費されません。
- ご使用のパソコンもしくはパソコンのUSBポートによっては、電源が入らない場合があります。その場合には付属のACアダプタをご使用ください。

転送を開始する

m:robeをパソコンに接続すると、m:tripが起動します。
パソコンの画面右下の[同期]ボタンをクリックして表示される画面で、[開始]ボタンをクリックすると、m:trip内の音楽データの転送が始まります。
転送中はm:robeに画面が表示されます。

データの転送が終わると、画面の矢印の動きが止まります。

補足

m:robeをパソコンに接続したときに、自動的にm:tripが起動しないように設定することができます。詳しくはm:tripオンラインヘルプをご覧ください。

m:robeをパソコンから取り外す

1 m:tripの画面にある[m:robeの取り外し]ボタンをクリックします。

2 m:robeをクレードルから取り外します。
m:robeとパソコンを直接接続している場合は、m:robeから専用USBケーブルを抜いてください。

m:robeとm:tripの同期機能について

m:robeとパソコンを接続して、m:tripに保存されている音楽データの内容を、m:robeとm:tripの間で一致させて相互に転送することができます。この機能のことを「同期」と呼びます。
例えば、m:tripでファイルに追加した情報をm:robeに反映することができます。また、音楽ファイルについては、m:trip で曲のタイトル横に表示される [同期チェックボックス] のチェックを入れたり外したりして、ファイルごとに同期する / 同期しないように設定して、m:robe のデータの管理を行うことができます。

m:robeに転送できるファイル形式

－音楽ファイル

- WMA(可変ビットレートを含む)
- MP3(可変ビットレートを含む)

 補足

m:robe で対応していないファイル形式のデータは、パソコンと接続しても同期されません。

音楽ファイルの同期について

音楽ファイルの管理は、m:tripで行います。m:tripには保存しておきたいけれど、m:robeに転送したくないファイルは、m:trip で曲のタイトル横に表示される [同期チェックボックス] のチェックを外して同期されないように設定します。
また、m:robe 内のファイルを削除したいときは、m:trip で「同期チェックボックス」のチェックを外すと、次回同期したときにこのファイルはm:robeから削除されます。

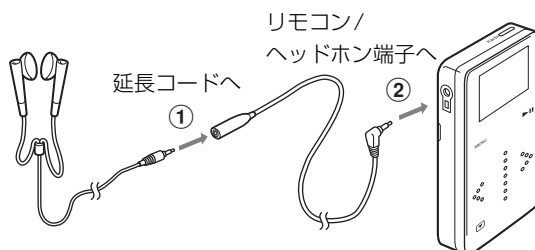
 ご注意

m:trip内のファイルを削除すると、次回同期したときにm:robe内からもデータが自動的に削除されます。

 補足

- m:tripを使うことでバックアップなどの管理が簡単にできます。便利にお使いいただくために、m:tripのご使用をおすすめします。なお、m:trip で管理されているデータを消去しないように、ご注意ください。
- m:robeを複数所有している場合、それぞれのデータの管理を1台のパソコンで行うことができます。1台のパソコンで管理できるm:robeは最大で8台です。
  ただし、1 台のm:robeを複数のパソコンに接続して使用することはできません。
  これらの操作や機能について詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。

ヘッドホンを取り付ける

下の図のように、付属のヘッドホン(①)と延長コード(②)をm:robeのリモコン/ヘッドホン端子に取り付けます。

 ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を最小にしてからヘッドホンを取り付けてください。音量の調節の操作方法について、詳しくは「音量を調節する」(☞29ページ)をご覧ください。
- 音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

補足

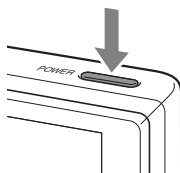
- ヘッドホンは直接m:robeのリモコン/ヘッドホン端子に取り付けることもできます。延長コードの長さが不要な場合に便利です。
- 延長コードのかわりに、オプションのリモコンを取り付けることもできます。リモコンについて詳しくは、「リモコンを使用する(オプション)」(☞34ページ)をご覧ください。

基本操作

m:robeの電源を入れる / 切る

m:robe の電源を入れる前に、HOLD スイッチが入っていないか確認してください。(☞25 ページ)

m:robeの電源を入れる

1 POWERボタンを押します。

m:robeの電源が入り、タッチパッドが点灯します。
メインメニュー画面(☞33ページ)または再生画面(☞30ページ)が表示されます。

補足

音楽が停止した状態で、3分間操作が行われないと、自動的にm:robeの電源がオフになります(オートオフモード)。
操作するには、POWERボタンを押してm:robeの電源を入れてください。

m:robeの電源を切る

1 POWERボタンを押します。
m:robeの電源がオフになります。

誤作動を防止する

－ホールド機能

ポケットやカバンに入れて使うときなどに、m:robe が誤って作動するのを防止することができます。

m:robe本体をホールドに設定する

m:robeのHOLDスイッチを下のイラストのように、矢印の方向に切り替えます。

オン

画面が消灯して、タッチパッドが働かなくなります。

ホールド機能が働いている場合は、O┳が画面に表示されます。詳しくは「再生画面」（☞30ページ）をご覧ください。

ホールド機能を解除するには

HOLDスイッチを矢印と逆の方向に切り替えます。

画面のO┳が消えます。

タッチパッドを使用する

タッチパッドの動作

タッチパッドの動作は再生画面、選曲、設定などモードにより異なります。

基本操作

再生画面（☞30ページ）

番号	キー名称		機能
1	►II	（再生／停止）	曲を再生、停止します。
2		（送る）	次の曲にスキップします。 長押しすると、再生中の曲を早送りします。
3	スクロールキー		音量を調節します。（☞29ページ） 補足 • 再生リスト画面で、曲のリストをスクロールしながら見ることができます。（☞31ページ） • 歌詞画面で、歌詞をスクロールしながら見ることができます。（☞31ページ）
4		（表示）	再生リスト画面と歌詞画面、再生画面を交互に表示します。（☞31ページ）
5		（戻る）	1つ前の曲を再生します。 長押しすると、再生中の曲を巻き戻します。
6	MENU		►IIキーで選択された画面の1つ前の画面に変わります。 長押しすると、メインメニュー画面に戻ります。

メインメニュー画面（☞33ページ）

番号	キー名称	機能
1	（再生/停止）	曲を再生、停止します。
2	（送る）	選択した画面に変わります。
3	スクロールキー	画面をスクロールします。
4	（表示）	-
5	（戻る）	-
6	MENU	再生画面に戻ります。

ミュージックリスト画面とミュージックサーチ画面（☞37、38ページ）

番号	キー名称	機能
1	（再生/停止）	曲を再生、停止します。
2	（送る）	選択した画面に変わります。
3	スクロールキー	画面をスクロールします。
4	（表示）	-
5	（戻る）	1つ前の選択画面に戻ります。 **補足** ミュージックリスト画面からメインメニュー画面に表示が変わります。
6	MENU	再生画面に戻ります。 長押しすると、メインメニュー画面に戻ります。

ミュージック設定画面とデバイス設定画面（☞40、41ページ）

番号	キー名称	機能
1	（再生／停止）	設定値を決定します。
2	（曲送り）	選択した画面に変わります。
3	スクロールキー	画面をスクロールします。
4	（表示）	-
5	（戻る）	1つ前の画面に戻ります。
6	MENU	再生画面に戻ります。 長押しすると、メインメニュー画面に戻ります。

補足

操作可能なキーは点灯します。

音楽を聴く

1 タッチパッドの -▶II- を押します。

曲が再生されます。

補足

前回停止したところから、曲は開始されます。

音量を調節する

1 スクロールキーを操作します。

音量を調節できます。

スクロールキーを使用している間は、音量調節画面を表示します。

タッチパッドについて詳しくは、「タッチパッドを使用する」(☞26 ページ)をご覧ください。

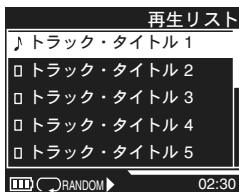
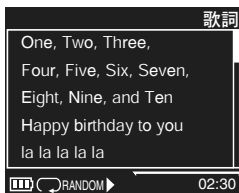
再生画面

再生画面に、再生中の曲の情報を表示します。

1 表示画面
2 再生曲時間表示
3 時刻表示
4 インフォメーションエリア
5 経過時間
6 現在曲位置表示
7 アーティスト名
8 曲名
9 ホールド状態
10 トラック番号

曲の情報を見る

再生画面上で、タッチパッドの を押すごとに、次のように表示が変わります。

- **再生リスト画面**
  選択された曲のリストと順番、現在再生中の曲が確認できます。

- **歌詞画面**

歌詞の続きを見るには、スクロールキーを使用してください。

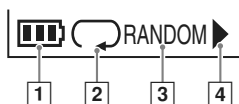
補足

歌詞情報がない場合、画面に何も表示されません。

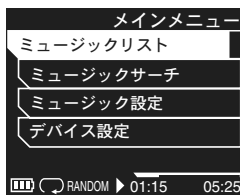
- **再生画面に戻る**

基本操作

インフォメーションエリアについて

m:robeのバッテリ残量、ミュージック設定機能の情報が画面の左下に表示されます。

番号	名称	アイコンの見かた	参照ページ
1	バッテリインジケータ	:バッテリは完全に充電されています。 /:バッテリが消耗しています。 :バッテリ残量がありません。充電してください。 **補足** 充電中はインジケータが点滅します。	（☞15ページ）
2	リピート機能	:1曲を繰り返し再生します。 :選択された再生リスト内の曲をすべて繰り返し再生します。 表示なし:リピートしません。	（☞40ページ）
3	ランダムモード	RANDOM:選択された再生リスト内の曲を順不同に再生します。	（☞40ページ）
4	再生/一時停止	▶:再生 ❚❚:一時停止	（☞29ページ）

メインメニュー

メインメニュー画面から、再生する曲の選択や再生モードの変更、または m:robe の設定などができます。

選択する項目

- ミュージックリスト（☞37ページ）
- ミュージックサーチ（☞38ページ）

設定する項目

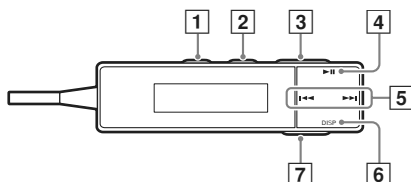
- ミュージック設定（☞40ページ）
- デバイス設定（☞41ページ）

1 MENU を長押しして、メインメニュー画面を表示します。

2 スクロールキーを使って項目を選択し、●を押します。
選択した画面が表示されます。

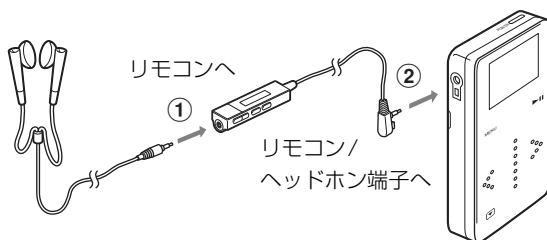
リモコンを使用する(オプション)

リモコンでできること

オプションのリモコンRM13を使用すると、m:robeで気に入った曲を聴いた際に、リモコンについている♥ボタンを押すだけで、その曲がお気に入りリスト(☞37ページ)に追加されます。パソコンを使用しなくても、気軽にお気に入りリストを作成できます。

番号	項目		説明
1	♥	お気に入り登録	長押しして、ディスプレイに表示されている曲をお気に入りに登録します。(☞37ページ)
2		MODE(モード)	押すごとに、リピート再生(すべて)/リピート再生(1曲)/ランダム再生/ランダムリピート再生/オフの順に、再生モードが切り替わります。
3		Volume+/−	+を押して、音量を上げます。 −を押して、音量を下げます。
4	►II	再生/停止	曲を再生、停止します。
5	I◄◄/►►I	曲戻し/曲送り	曲の頭出しをします。2回押して、前の曲の頭出しをします。長押しして、早戻します。 /次の曲を再生します。長押しして、早送りします。
6	▼	ディスプレイボタン	押すごとに、曲名/アーティスト名/通常表示の順に、ディスプレイに表示される項目が切り替わります。
7		HOLDスイッチ	スイッチを切り替えて、リモコン操作をホールド/ホールド解除します。(☞25ページ)

リモコンをm:robeに取り付ける

① リモコンを付属のヘッドホンに接続します。

② リモコンの先を、m:robeのリモコン/ヘッドホン端子に取り付けます。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、リモコンの音量を最小にしてからヘッドホンをご使用ください。
- 音量を上げすぎると、聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

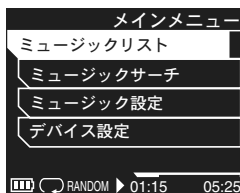
聴きたい曲を選択する

メインメニュー画面に表示される、「ミュージックリスト」または「ミュージックサーチ」の項目から再生する曲を選択できます。

 補足

ミュージックリスト内の項目を作るには、パソコンでm:tripを使用します。詳しくはm:tripオンラインヘルプをご覧ください。

ミュージックリストまたはミュージックサーチを使って曲を選択する

1 MENU を長押しして、メインメニュー画面を表示します。

2 スクロールキーを使って「ミュージックリスト」(☞37ページ)または「ミュージックサーチ」(☞38ページ)を選択し、を押します。

3 スクロールキーを使って再生したい項目を選択し、を押します。
選択した項目の画面が表示されます。

4 スクロールキーを使って再生する曲を選択し、▶II 押します。
選択された項目に合わせて、曲の再生を開始します。画面には、再生画面が表示されます。

補足

を押すと1つ前の操作画面に戻ります。

選択をキャンセル/中止する

- 再生中に MENU を押すと、再生画面を表示します。
- MENU を長押しすると、メインメニュー画面を表示します。

ミュージックリスト

メインメニュー画面から「ミュージックリスト」を選択すると、最近聴いた曲、MY TOP 20、歌詞付きの曲などのリストから再生する曲を選択できます。
最近聴いた曲、MY TOP 20、未再生の曲の一覧はm:robeの再生状況に合わせて自動的に作成されます。

ミュージックリストの項目

お気に入り

好きな曲の一覧を見ることができます。
再生モード中に「お気に入り」に曲を追加する場合は、リモコン(オプション)のお気に入り登録♥を押してください。(☞34ページ)

最近聴いた曲

最近再生された10曲を一覧で見ることができます。

MY TOP 20

繰り返し聴かれている曲を、再生の頻度が高い順に20曲まで一覧で見ることができます。

歌詞付きの曲

曲情報に含まれている、歌詞付きの曲一覧を見ることができます。

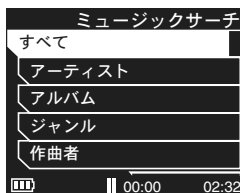
未再生の曲

再生の頻度が少ない曲一覧を見ることができます。

プレイリスト

m:trip を使用して編集･作成したオリジナルの曲リストを m:robe に転送すると、この項目内に表示されます。

ミュージックサーチ

m:tripからm:robeに曲を転送すると、曲情報からライブラリが作成されます。
メインメニュー画面から「ミュージックサーチ」を選択すると、アーティスト別、アルバム別、ジャンル別、作曲者別、リリース年別に曲のタイトルを検索したり再生したりできます。
アルバム情報の取得と設定方法について、詳しくはm:tripオンラインヘルプをご覧ください。

ミュージックサーチの項目

すべて

m:robe内の曲をすべて表示します。

アーティスト

アーティスト別に曲一覧を表示します。
スクロールキーを使ってアーティスト名を選択し、を押すと、そのアーティストのアルバムタイトル一覧を表示します。

アルバム

アルバムタイトル別に曲一覧を表示します。
スクロールキーを使ってアルバムタイトルを選択し、を押すと、そのアルバムの収録曲一覧を表示します。

ジャンル

各ジャンル別に曲一覧を表示します。
スクロールキーを使ってジャンル名を選択し、を押すと、「すべて」、「アルバム」、「アーティスト」の３つの項目を表示します。
スクロールキーを使って項目を選択し、を押すと、その項目に合わせた曲一覧を表示します。

作曲者

作曲者別に曲一覧を表示します。

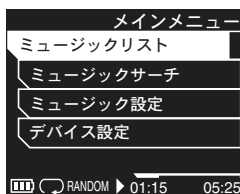
リリース年

発売年度別に曲一覧を表示します。

m:robeを設定する

m:robe では、再生モードや操作音などいろいろな設定ができます。設定画面で、設定値を確認、変更できます。

ミュージック設定とデバイス設定

1 を長押しして、メインメニュー画面を表示します。

2 スクロールキーを使って、「ミュージック設定」（☞40ページ）または「デバイス設定」（☞41ページ）を選択し、を押します。

3 スクロールキーを使って変更または確認したい項目を選択し、を押します。
選択した項目の画面を表示します。

4 スクロールキーを使って設定値を選択、または数値を変更して、を押します。
その値を設定した後に、ミュージック設定画面またはデバイス設定画面が表示されます。

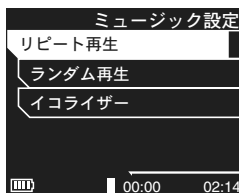
 補足

を押すと、その設定をキャンセルし、1つ前の操作画面に戻ります。

設定画面をキャンセル/中止する

- 再生中にを押すと、再生画面を表示します。
- を長押しすると、メインメニュー画面を表示します。

ミュージック設定

再生モードや音質効果などを設定できます。

ミュージック設定の項目

リピート再生

繰り返し再生モードを選択できます。

- OFF: リピード再生を解除します。
- すべて: 選択された再生リスト内の曲をすべて繰り返し再生します。
- 1曲: 1曲を繰り返し再生します。

補足

- リピート再生モードを選択している時は、再生画面にアイコンが表示されます。(☞32ページ)
- 「すべて」を選択している時は、ランダム再生モードを選択できません。

ランダム再生

選択された再生リスト内の曲を順不同に再生します。

補足

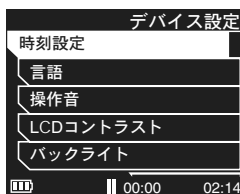
- ランダム再生モードを選択している時は、再生画面にアイコンが表示されます。(☞32ページ)
- ランダム再生モードを選択している時は、リピート再生モードの「1曲」を選択できません。

イコライザー

イコライザの種類を、音楽のジャンルや音楽を聴く場所などに合わせて選べます。

分類	項目
音楽のジャンルに合わせた効果	CLASSICAL、ELECTORONICA、HIP HOP、JAZZ、POP、ROCK、R&B
特定の音域を強調した効果	BASS BOOST、BASS CUT、MID BOOST、MID CUT、HI BOOST、HI CUT、VOCAL BOOST
その他	SPOKEN WORD:ボーカル部分やナレーションなど人の声を強調します。 ON A TRAIN:飛行機や電車などで聴くのに適しています。うるさい場所でも音楽を聴きやすく、かつ音漏れも少なく、他人に迷惑をかけません。
無効	OFF

デバイス設定

設定画面で設定値を確認、変更できます。

デバイス設定の項目

時刻設定

日付と現在時刻を設定します。

1 変更する項目を選択し、 を押します。

2 スクロールキーを使って、数値を変更します。

補足

時刻表示は、24時間表示か12時間表示を選択できます。

3 手順1、2を繰り返して他の項目を合わせます。

4 画面右側の項目を変更した後に、 を押します。次の設定画面が表示されます。
その他の項目を合わせる場合は、手順1、2を繰り返します。

補足

- 「Y(年)/M(月)/D(日)」は日付表記です。スクロールキーを使って「Y(年)/M(月)/D(日)」、「M(月)/D(日)/ Y(年)」、「 D(日)/ M(月)/ Y(年)」の中から選択します。
- 日付表記を選択し、 を押します。

5 時刻設定を終了した場合は、 を押します。
デバイス設定画面に戻ります。

言語

画面に表示される言語を選択します。

補足

言語選択の画面は各国の文字を表示します。

操作音

操作音を有効/無効にするか設定できます。
ONの場合、操作音はヘッドホンから聞こえます。

LCDコントラスト

スクロールキーを使って、画面の明るさを調整します。

バックライト

液晶ディスプレイのバックライトおよびタッチパッドの点灯時間を設定できます。
m:robe の操作時に、画面にバックライトが点灯します。操作終了後からバックライトが消えるまでの時間を選択します。バックライトの点灯時間を「3 秒」、「5 秒」、「15 秒」、「30 秒」、または「常時」点灯に設定できます。

オフタイマ

音楽再生中に何分後に電源が切れるかを選択します。電源が切れるまでの時間を「30 分」、「60 分」、「90分」、「120分」、または「OFF」に設定できます。

設定リセット

すべての設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
スクロールキーを使って「OK」を選択し、▶II を押します。
再度確認するメッセージ画面が表示されます。スクロールキーを使って「OK」を選択して ▶II を押すと、すべての設定のリセットが完了します。

補足

この操作で m:robe の曲は消去されません。曲のデータを削除したい場合は、パソコンをご使用ください。詳しくは、m:trip オンラインヘルプをご覧ください。

システム情報

ハードディスクの容量、モデル名、ファームウェアのバージョン、シリアル番号などを表示します。

その他

外付けハードディスクドライブとして使用する

m:robeをパソコンの外付けハードディスクドライブとして認識させることができます。
m:robe内に音楽以外のデータを入れて持ち運べます。

 ご注意

- パソコンでm:robeハードディスクのSystemフォルダ及びその内部のファイルを追加/修正/消去したり、フォルダ名/ファイル名を変更すると、m:robeが正常に動作しなくなるため、絶対に行わないでください。
- 付属の音楽·画像管理ソフトm:trip以外のアプリケーションソフトを使用して音楽ファイルデータを入れても、音楽の再生はできません。また、パソコンからm:tripフォルダ内のデータの書き換え/消去は行わないでください。

お手入れについて

m:robeの外側

柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから拭き取ってください。海辺で使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ってください。

液晶ディスプレイ、タッチパッド

液晶ディスプレイやタッチパッドに付いたゴミや汚れは、柔らかい布でやさしく拭き取ってください。

ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使用しないでください。

m:robeを廃棄されるときのご注意

本製品を廃棄されるときは内蔵バッテリを取り外してください。廃棄するとき以外は、本製品を絶対に分解しないでください。

危険

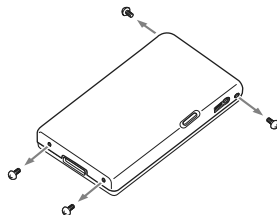
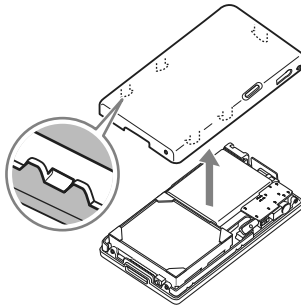
- **内蔵バッテリの電極(+と－端子)に金属類を近づけたり、強い衝撃を与えない。**またネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。
- **内蔵バッテリを加熱・分解・改造したり、火や水の中に入れたり、炎天下へ放置しない。**発熱、破裂、発火の原因となります。
- **内蔵バッテリに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、投げつけたり、踏みつけたりしない。**発熱、破裂、発火の原因となったり、液漏れの原因になります。
- **内蔵バッテリのコネクタに絶縁テープを貼る。**電極がショートすると、発熱、破裂、発火のおそれがあります。

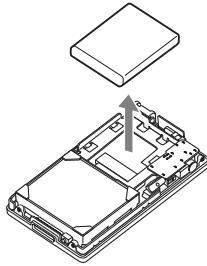
警告

- **内蔵バッテリを、幼児、子供の手の届く場所に置かない。**けがなどの事故の原因となります。
- **内蔵バッテリの液が漏れて触ったり目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること。**そのままにしておくと、皮膚や目に障害が起きる原因となります。

バッテリの取り外しかた

1 m:robe の電源がオンになっている場合は、POWER ボタンを押して電源をオフにします。

2 側面と裏面のネジ4箇所を精密ドライバーで外します。

3 裏面のカバーを外します。

裏面のカバーを外す際は、４つのツメで固定されているため、外れにくくなっています。カバーをしっかりとつかみ、下側の端から持ち上げてください。

4 内蔵バッテリを取り出します。

取り外した内蔵バッテリは、ケーブルのコネクタ部をテープで覆うようにしてバッテリ本体に貼付けて、ポリ袋などに入れてください。

ご注意

- 内蔵バッテリは完全に消耗したことを確認してから、取り外してください。
- 電源がオフになっていることを確認してから取り外してください。
- 一度取り外した内蔵バッテリは、再び接続しないでください。
- 取り出した内蔵バッテリはなるべく早めに充電式バッテリリサイクル協力店へお持ちください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、地方自治体にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

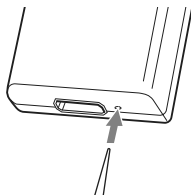
修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
なお、修理･点検に出されるときには、必ずバックアップをお願いします。修理･点検によりハードディスクへの書き込みや消去等を行うことがあり、お客様のデータが損なわれることがあります。当社においては、著作権上から修理･点検に際して、データのコピーをいたしておりません。データの修復はできませんのであらかじめバックアップをしてからお出しください。
また、故障によるデータの喪失を防ぐためにも、同期機能によるバックアップをこまめにお取りいただくことをおすすめします。

こんなときは	原因･状態	こうしましょう	参照ページ
電源がオンにならない	ホールド機能に設定されている。	ホールドを解除してからPOWER ボタンを押してください。	25
電源がオフになる	オフタイマが設定されている。	本製品では音楽再生時のオフタイマ時間を設定できます。お好みの時間もしくは OFF にして下さい。	42
	オートオフモードが動作した。	本製品停止状態で 3 分間操作が行われないと自動的にパワーオフとなります。 POWER ボタンを押して電源をオンにしてください。	24
操作を受け付けない	ホールド機能に設定されている。	ホールドを解除してください。	25
タッチパッドの反応が悪い	操作部に水滴が付いていたり、濡れた手で操作するとボタンの反応が悪くなります。	乾かしてから操作してください。	
本体が熱くなる	長時間使用すると本製品の温度が上がります。	故障ではありません。	
バッテリの持続時間が短い	内蔵バッテリは充電回数、使用時間により性能が少しずつ劣化します。目安として約500回充電できます。	充電してもすぐに内蔵バッテリが消耗する場合は当社のサービスステーションにてバッテリを交換してください。	
画面に何も表示されない	バッテリの残量がない。	付属の AC アダプタで充電してください。	15

こんなときは	原因・状態	こうしましょう	参照ページ
画面が見えにくい	バッテリの残量がない。	付属のACアダプタで充電してください。	15
	LCDコントラストが薄く設定されている。	LCDコントラストを見やすい状態に設定して下さい。	42
画面およびタッチパッドが消灯する	バックライトが「常時」以外に設定されている。	本体はバックライトと連動してタッチパッドの点灯時間を設定できます。お好みの時間に設定してください。	42
ボタンが点灯しない	ホールド機能に設定されている。	ホールドを解除してください。	25
音楽が聞こえない	音量が最小になっている。	聞きやすい音量に設定してください。	29
	ヘッドホンが正しく接続されていない。	ヘッドホン、延長コード、リモコン、および本体の接続を確認してください。	23 35
転送したはずのファイルが見つからない	エクスプローラなどを経由して転送した。	付属の音楽・画像管理ソフトm:trip以外から転送したファイルは本製品に表示されません。m:tripと同期してください。	19
同期できない	本体の電源が入っていないと充電モードのみとなります。	本体の電源を入れてください。	20

m:robeを再起動する

チェック表に従って処置を行っても解決しないときは、m:robe を再起動してください。問題が解決する場合があります。

1 ペンのような先のとがったもので本製品の底面のハードウェアリセットスイッチを押してください。

 補足

m:robeを再起動しても、データは消去されません。

エラー表示一覧

m:robe の画面に以下のようなエラーメッセージが表示された場合は、その対処方法に従ってください。

メッセージ	内容＆対処法
このファイルはみつかりません	本体にそのファイルがありません。 →自動的に次の曲に進みます。 →パソコンと m:robe を同期して、そのファイルを取り込んでください。
再度、PCと同期してください	ファイルを管理しているデータベースに異常が見つかりました →パソコンとm:robeを同期してください。
このファイルは再生できません	音楽ファイルに問題があるか、サポートされていないフォーマットです。 →自動的に次の曲に進みます。 →パソコンと m:robe を同期して、そのファイルを取り込んでください。
接続を確認してからもう一度やり直してください	パソコンと本体の間の通信状態に問題があります。 →パソコンとm:robeを専用USBケーブルで接続してください。
システムエラー/00* 修理が必要です	本製品に異常が発生しました。 →当社サービスステーションにご連絡ください。
リモコンエラー	リモコンに問題があります。 →当社サービスステーションにご連絡ください。

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名･お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにお問い合せください。
- 本製品の保証、修理、サービスは日本国内でのみ有効です。本製品は国内専用のため、海外では修理できません。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（音楽の購入、取得に要した諸費用等を含む）については補償しかねます。また運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また、控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。
- 修理のために取り外した部品の所有権は当社に属するものとします。
- 点検、修理によりハードディスクへの書き込みや消去等を行うことがあり、記録した内容は失われる場合があります。点検、修理に出す前に必ずバックアップをしてください。また、記録された内容の変化、消失による損失に関しては、一切の責任を負いかねます。
- 当社では、損失した記録内容の復旧、修復作業はお受けいたしておりません。また、当社においては、著作権上から修理、点検に際して、記録内容のコピーをいたしておりません。データの書き戻しをお求めの際には、修理をお引き受けできない場合がございます。

仕様

製品名	DIGITAL AUDIO PLAYER
型番	MR-100
内蔵バッテリ	リチウムイオン充電式バッテリ
質量	約100g(本体のみ)
外形寸法	約52×90×14.9mm(幅/高さ/奥行き　最大突起部を除く)
記録媒体	内蔵ハードディスク 5GB*1
対応音楽ファイル形式	･Windows Media Audio (WMA) ･MPEG-1/2 Audio Layer 3 (MP3)
最大保存曲数	約1,200曲*2
オーディオ連続再生時間	約8時間 (WMA)*3 約12時間 (MP3)*3
ビットレート	･WMA: 32～192kbps(可変ビットレートを含む) ･MP3: 16～320kbps(可変ビットレートを含む)
使用条件	･温度: 5～35℃ ･湿度: 30～90%(結露のないこと)
充電時間	約3時間(ACアダプタ使用時) 約8時間(専用USBケーブル使用時)
USBポート	USB2.0
ヘッドホン端子	3.5mmジャック/ステレオタイプ 負荷インピーダンス　22Ω

*1 1GBを10億バイトで計算した場合の数値
(実際のフォーマットされた容量は5GB以下となります。)

*2 音楽データのみを入れた場合
WMA形式、128kbpsのファイルを1曲4分で換算時

*3 常温(25℃)、バックライト非点灯、調整範囲の中央の音量で、128kbps、44.1kHzのWMA/MP3形式データの場合
この連続再生時間は、使用条件、使用周囲温度、内蔵バッテリの充電の繰り返し回数などによって異なるため、あくまで目安であり、保証する時間ではありません。

ACアダプタ

形式	スイッチングレギュレータ方式
入力	AC 100V-240V、50/60Hz
出力	DC 5V、2A

クレードル

外形寸法	約71×39×59mm(幅/高さ/奥行き 最大突起部を除く)
質量	約50g
コネクタ	DC IN 5V端子、USB端子

仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

メニューリスト

メインメニュー
ミュージックリスト
ミュージックサーチ
ミュージック設定
デバイス設定
RANDOM
01:15
05:25
ミュージックリスト
お気に入り .....
最近聴いた曲 .....
MY TOP 20 .....
歌詞付きの曲 .....
未再生の曲 .....
プレイリスト .....
ミュージックサーチ
すべて .....
アーティスト .....
アルバム .....
ジャンル .....
作曲者 .....
リリース年
ミュージック設定
リピート再生
OFF
すべて
一曲
ランダム再生
OFF
ON
イコライザー
OFF / BASS BOOST /
BASS CUT / MID BOOST /
MID CUT / HI BOOST /
HI CUT / VOCAL BOOST /
SPOKEN WORD /
ON A TRAIN / CLASSICAL /
ELECTRONICA /
HIP HOP / JAZZ / POP /
ROCK / R&B
デバイス設定
時刻設定
言語 .....
操作音
ON
OFF
LCDコントラスト
バックライト
3秒
5秒
15秒
30秒
常時
オフタイマ
OFF
30分
60分
90分
120分
設定リセット .....
システム情報

索引

ら

り

お問い合わせいただく前に（お願い）

- より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
- FAXまたは郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。
- 問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：
  パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけ詳しくお知らせください。

- お名前（フリガナ）
- 連絡先：郵便番号
  ご住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）
  電話番号/FAX
  E-mail
- 製品名（型番）：
- シリアル番号（製品底面に記載されています）：
- お買い上げ日：

※以下は、本製品をパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。

- ご使用のパソコンの種類：
  パソコンメーカー・型番等
- メモリの容量　ハードディスクの空き容量：
- OS名とバージョン：
  コントロールパネルーシステムーデバイスマネージャーの内容
- その他接続されている周辺機器：
- 問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン：
- 問題のご使用当社ソフト名とバージョン：

その他

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1新宿モノリス

ホームページのご案内

http://www.olympus.co.jp/

ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報をご提供しております。
オリンパスホームページ（ **http://www.olympus.co.jp/**）から「 お客様サポート 」へ進み、ご利用ください。

商品に関するお問い合わせ窓口（オリンパスカスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル 0120-084215

携帯電話・PHS からは 0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。
より迅速、正確にお答えするためにお手数ですが、裏面の「お問い合わせいただく前に（お願い）」の内容をあらかじめご確認ください。

営業時間　**平日**　9：30〜21：00
土・日・祝日　10：00〜18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先
TEL 0266-26-0330　**FAX 0266-26-2011**

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター

営業時間　9:00〜17:00（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京 〒101-0052 千代田区神田小川町１の３の１
小川町三井ビル（オリンパスプラザ内） Tel.03（3292）3403
札　幌 〒060-0034 札幌市中央区北４条東１の２の３　札幌フコク生命ビル Tel.011（231）2320
仙　台 〒981-3133 仙台市泉区泉中央１の13の４　泉エクセルビル Tel.022（218）8421
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦２の19の25　日本生命広小路ビル Tel.052（201）9571
大　阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場２の12の26　オリンパス大阪センター Tel.06（6252）6995
広　島 〒730-0013 広島市中区八丁堀16の11　日本生命広島第２ビル Tel.082（228）3821
福　岡 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通３の６の11　福岡フコク生命ビル Tel.092（761）4466

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。
オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

Printed in CHINA

J1-NG0624-01
YC0410